

とうべつ

手にとって ^{ぐ~っと}good 身近に

議会だより



No.205

令和3年5月1日発行

CONTENTS

3月定例会

町長・教育長の執行方針に対する代表質問・・・ p. 2

4会派4人の代表質問、予算審査特別委員会、常任委員会

4人の議員が町の考えを質す・・・・・・・・・・ p.12

一般質問

新たな除排雪体制、新駅、新校舎・・・・・・・・ p.16

令和2年度補正予算等審議



とうべつ学園建設工事現場（下川町）

令和3年度当初予算

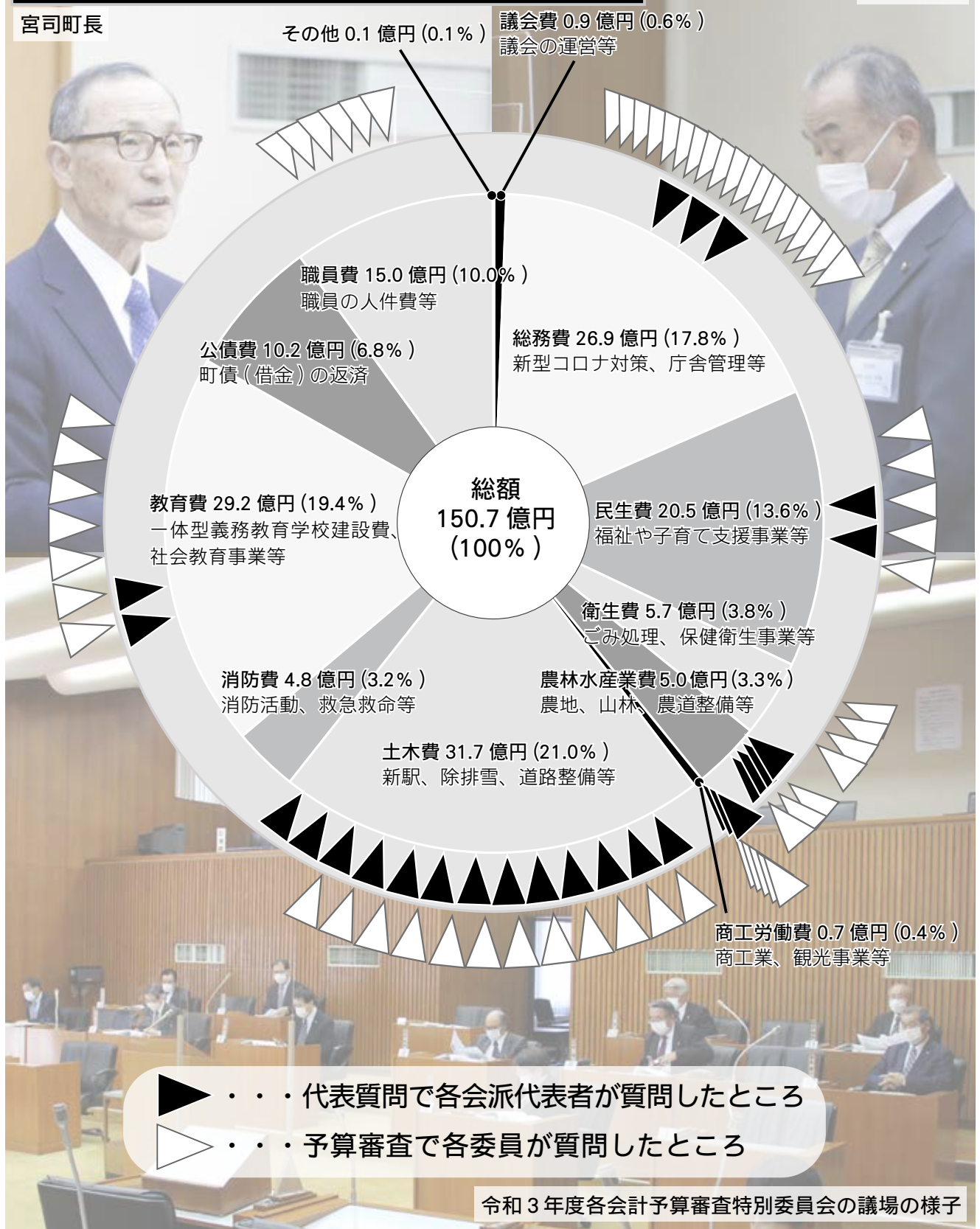
私たちは、ここに注目しています！

一般会計歳出

※一般的な行政にかかる経費の支出

本庄教育長

宮司町長



- ▶ . . . 代表質問で各会派代表者が質問したところ
- ◀ . . . 予算審査で各委員が質問したところ

令和3年度各会計予算審査特別委員会の議場の様子

代表質問 会派清新 岡野 喜代治 議員

ここからは

代表質問 会派代表者が町政・教育行政執行方針に対して質問をしました。

質問の
ねらい

新年度予算、事業はどう進めるか

令和2年度は、コロナ禍により当別町においても経済活動が制限されたため、町税が大きく落ち込むことが想定される。町長は、ふるさと納税の取り組み強化により埋め合わせをしているが、令和3年度の歳入、

歳出について、どのように考えているのか。また、各事業をどのように進めようとしているのか。新年度予算の執行にあたり、町長の任期は残り5カ月ほどとなるが、7月町長選挙に向けて、出馬の意向はあるか。



ふるさと納税記念品カタログ 2021

ここが
聞きたい

ふるさと納税取り組み強化

問

ふるさと納税は、事業者や生産者等の努力により、町長就任から現在までで55億円を超え、町財政や地域産業力向上に貢献している。さらなる取り組み強化とは、どのように進めるのか。

答

返礼品メニュー充実や数量確保、広告宣伝が重要。また、新たなポータルサイトとして、新年度から楽天とANAの導入を考えている。新たな寄附者獲得、リピーター確保を実現していきたい。

ここが
聞きたい

とうべつ学園環境整備は

問 とうべつ学園は、子どもたちの学びや健全な成長^{あいさよう}の心を育む教育の場となるべく開校に向けて進めている。安全に安心して通学できる通学路の整備など環境整備はどのように進めるのか。

答

当別中の通学路が基本だが、少し範囲が広がるためスクールバスの運行も含めた整備が必要。町教委設置の当別町通学路安全推進連絡会議からの意見を踏まえ、安全な環境を整えていきたい。

ここが
聞きたい

役場庁舎建て替えの方向性

問

役場庁舎建て替えについては、令和2年度に続き関連予算を計上し、事業を本格化させると表明している。今後の方向性やイメージについて、現時点での考えは。

答

防災拠点整備の観点からも老朽化が進む庁舎の建て替えは待ったなしの^{きつぎん}喫緊の課題。新年度は基本構想を取りまとめ、速やかに次の段階に進めるように新庁舎の早期完成に向け準備していく。

ここが
聞きたい

次期町長選出馬は

問 町長の2期目の任期も残り5カ月ほどとなった。7月には町長選挙が行われるが、町長選挙に対する現時点での考えは。

新型コロナウイルス対策に物理的にも、精神的にも注力しており、自身の進退について、じっくり考える状況になかった。また、昨年8月に手術を行い、現状ではいまだに術後の回復過程にある。もう少しお時間をいただきたい。

答

結論としては、まだ決めていない。このところ



期日前投票の会場

【その他の主な質問項目】
公共交通活性化プロジェクト



代表質問

会派爽新 古谷 陽一 議員

質問の
ねらい

商店街の経済対策の強化を！

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、飲食店等から不安の声が上がっている。弱体化しつつある事業者の状況を調査し、強力な対策を講ずるべきと質した。また、ICT※¹を活用したスマート農業の推進、土

地基盤の整備と農業用施設の対策、農業総合支援センターの強化について伺った。さらに、観光資源の活用の推進、とうべつ学園の今後の取り組み、役場庁舎の建て替えと今後の取り組みについて質した。

ここが聞きたい 飲食店等へ経済対策強化を

問 コロナ禍の中、経済の停滞に苦しんでいる飲食店等からは不安の声が上がっている。災禍の長期化で弱体化しつつある事業者に対して、状況を調査し、強力な対策を講ずるべきでは。

答 昨年よりさらにプレミアム率を上乗せしたプレミアム付商品券事業の継続や事業者への水道料減免を実施。また、商工会や料飲店組合と意見交換し、状況の変化に応じた対策を検討していく。

ここが聞きたい 農業総合支援センター支援

問 基幹産業の農業発展が町の発展に必要な重点施策。当別町農業総合支援センターを設立し、取り組みを強化しているが、さらなる強化支援策は。

答 センターの役割は、新規就農者の募集だけではなく、農地の集積・集約化、法人化の推進、スマート農業の進展など、町の課題に取り組んでいくもの。引き続き強化支援に努めていく。

ここが聞きたい 観光資源活用の推進を

問 コロナ禍において観光需要の冷え込みが続いている。道の駅を観光拠点として、町内を周遊させる観光事業に取り組むべき。北海道観光振興機構等との連携は。

答 北海道観光振興機構と連携して情報発信を行い、国内外を問わず、コロナ収束後を見据えた観光誘客促進として、民間旅行者と連携した町内周遊ツアーの取り組みなどを進めていきたい。



商店街で行われたイベントの様子

ここが聞きたい とうべつ学園の開校準備は

問 小中一貫教育が開始され4年を迎え、学力は全国平均以上の成績になった。現在は当別小学校と中学校の2校で、今後一つの学校で一貫教育を進めるに当たり準備は十分に整っているのか。

答 残された時間は多くないので、開校までにやらなければならないこと、開校後も続けていくことなど、めりはりをつけて準備に当たっている。令和4年4月の開校に向け、万全を期していく。

ここが聞きたい 重要課題への体制づくりは

問 役場庁舎建て替えを含めた今後の重要課題に対する体制づくりは。

答 今後においても様々な施策を進める上で組織や体制を見直すことは極めて重要だと認識している。

【その他の主な質問項目】
土地改良整備事業と農村のインフラ整備、防災機能も担う農業用排水施設の対策

※1 ICT…Information and Communication Technology の略。メールやSNSなど通信技術を活用した産業やサービス等の総称。

代表質問 会派緑風会 秋場 信一 議員



質問の
ねらい

人口増へ期待を込めて！

町長が、町の発展のため産業力強化、定住人口増加を重点に、宅地開発や住環境整備に力を注ぐと表明したことに對し、定住促進の効果的な5つの政策について質した。①発電所による町への経済波及②ロイズの

大型投資に連携した新駅周辺開発と住民理解の必要性③子育て世帯向け公共賃貸住宅や町営住宅のバリアフリー化などの今後の住環境整備④定住を支える今後の除排雪対策⑤地域おこし協力隊募集で基幹産業を守れ

ここが
聞きたい

地元産業への積極的な関与を

問 民間事業者による木質バイオマス発電がこの夏から運転開始予定。当町の豊富な森林資源の活用と地元産業への後押しが求められるが、町にどのような効果が期待できるのか。

答 「再生可能エネルギーの町」の実現に大きく寄与するもの。事業者である三井物産と町内企業や研究機関との関わりが生まれ、町産業の発展にとって波及効果が大きく見込める。

ここが
聞きたい

農地の宅地転用への道は

問 民間投資と並走して周辺活性化を図るまちづくりは稀有な機会であるが、町は農業ビジョンを基に発展を図っている。周辺優良農地の農振規制緩和や宅地転用など、道は開けているか。

答 西当別地区は地域未来投資促進法の重点区域。地域の特性や資源を活用し、高い付加価値を創出できる土地利用であれば、産業の誘致や宅地開発などへも道筋をつけることができると考える。

ここが
聞きたい

生活直撃！今後の除排雪は

問 住み続けたい町の形成の中でサービスの充実に努めると述べたが、豪雪地帯の当別にとっては生活に直結する重要課題である大雪の実態をどう捉え、新年度に向けどう改善を図っていくのか。

答 災害に匹敵する大雪と捉えている。今まで培った除排雪システムを単に踏襲するのではなく、いかに斬新なシステムを構築していくのか、町民のお力も借りて探求していく必要性を強く感じた。

ここが
聞きたい

定住を促す町営住宅の構想は

問 子育て世帯向け住宅は今後も期待している。2棟目の改修は1棟目で想定した家族構成に変化を付けるのか。また、東町団地の全体の構想と町営住宅を含めた住環境整備はどのように考えるか。

答 間取り、広さ、対象の家族構成も同じだが、公募型プロポーザルにより、建物の個性や特徴が発揮されることを期待。住環境整備は、見直し中の住宅マスタープランをベースに事業を進める。



田植えの様子

ここが
聞きたい

新規就農と地域おこし協力隊

問 新年度募集が1件のみ。基幹産業を守るためには積極的な募集を図り、定住と就農人口の両面で獲得を目指すべきでは。

答 地域おこし協力隊は定住人口増加につながるが、簡単ではない。定住してくれる体制を整備することが重要と考える。

【その他の主な質問項目】

宮司町長3期目へ向けた町長選挙出馬



代表質問 会派公明 佐々木 常子 議員

質問のねらい 安心・安全の当別町に！！

昨年より新型コロナウイルス感染症が蔓延・拡大し、当別町においても昨年10月に感染者が大幅に増え、緊張の日々であった。一日も早い収束を願い、町民の皆様が安心してワクチンを接種できるように万全の準備を

をしておくべきではない。また今年には災害級とも言える大雪に見舞われ、除排雪体制の問題が浮き彫りになった。町民の皆様が安心して暮らしていただけるように除排雪体制を大きく見直していかなくてはならない。

ここが聞きたい ワクチン接種体制を万全に

問 町内医療機関及び北海道医療大学と連携を図るとのことだが、町民が安心して接種できるよう万全な体制を整えなければならないと考える。医療従事者、介護従事者、高齢者への接種体制は。

答 ワクチンが到着したら、まずは医療従事者から開始する準備を進めている。具体的な日程は情報が少なく明確に言えないが、万全な体制を進めるために特別な部署を設けた。

ここが聞きたい 役場庁舎の建て替えは

問 町民の安心・安全を守るためには防災対策が重要である。役場庁舎の建て替えについて、具体的な取りまとめ作業を進めていくとのことだが、今後のスケジュールは。

答 PFI や PPP^{※1}、リース方式^{※2}など民間活力を利用すると事業期間が短縮されたり、財政負担も軽減される。効率的な事業手法を活用して、新庁舎の早期完成に向けた準備を進めていきたい。

ここが聞きたい 除排雪体制の見直しを

問 安心して住み続ける、人口減少を食い止め、定住人口を増やす観点からも除排雪体制の見直し、強化が必要。豪雪地帯の当別に住み続けるには雪対策は最重要。今後の除排雪について考えは。

答 今シーズンを一つの教訓とし、災害時の対応方法について、これまで培った除排雪システムを踏襲するのではなく、いかに斬新なシステムを構築していくか、全町挙げて探求していきたい。



雪で波打っている道路 (本人提供)

ここが聞きたい 避難所の確保を

問 既存の避難所24カ所では、新型コロナ対策として、パーテーションなどで対応すると発表されたが、避難所を増やすことはできないのか。また防災マップは予定どおり春に配布されるのか。

答 避難所は増やす方向で関連施設と協議している。宿泊施設や、ゴルフ場のクラブハウスなど広いスペースを有する民間施設が候補。防災マップは、令和3年4月号の広報と一緒に配布予定。

ここが聞きたい 小さな単位で訓練や講習を

問 災害時の自助・共助を確かなものとしていくため、小さな単位での避難訓練や講習を呼びかけるなど、手立てが必要では。

答 訓練が一番効果的だと認識しているので、感染対策に十分配慮が必要だが、新年度は訓練や講習会を再開していきたい。

【その他の主な質問項目】
移住促進プロジェクト、地域・在宅医療確保対策プロジェクト など

※1 PFI…民間の資金や能力を活用して公共事業を行うこと。 PPP…官民連携により効率的で質の高い事業を行うこと。
※2 リース方式…民間が資金調達から、公共施設の設計や建設、運営等までトータルで行い、その対価をリース料として支払う契約方法。

令和3年度当初予算

ウィズコロナで進むデジタル化

総務文教常任委員会(3/8)、産業厚生常任委員会(3/9)、予算審査特別委員会(3/12・15・16)を開催し、新年度予算に関する質疑が行われました。

町ホームページ リニューアルへ

総務費

より見やすいHPへ向けて

HPデザインリニューアル業務委託 363万円

問

町ホームページのデザインリニューアルとあるが、どのような内容か。

答

今のデザインになって7年が経過。新型コロナ対策について閲覧する方

が多く、見づらいという声があったため、検索機能を向上させようとするもの。また、トップページについても、情報が多く分かりづらい部分があるため、シンプルなものにする予定。



現在の町ホームページ(トップページ)

デジタル人材の活用



タブレットを操作している様子

条例

専門的人材を期限付きで

一般職の任期付職員の採用等に関する条例制定

問

デジタル人材を採用したいとのことだが、どのような職種で、何人か。また、その任期は。

答

今、総務省がデジタル人材の派遣をマッチング

しており、それに手挙げしている状況。ICTに関連する専門性の高い課長職1名で協議している。また、期限は、条例上は最長5年だが、今協議している相手方とは2年間で調整中である。

条例

専門的な人材は割高では

一般職の任期付職員の採用等に関する条例制定

問

専門的な人材を入れる場合、割高の人事となる印象を受けるが、そうではないことを町民に説明すべきでは。

答

総務省のマッチングは、始まってからまだ2、

3年であるが、道内数力所の自治体で導入がすでに始まっており、今協議している相手も派遣事例がある団体。事例等については、今後十分に精査して、必要な場合は報告をさせていただきたい。



無線通信が可能となるモバイルWi-Fiルーター

ここからは

新年度予算審査

多岐にわたる質疑がありました。

定住促進へ向けて

定住促進や子育てしやすい環境づくりのため、空いていた教職員住宅を改修し、子育て世帯向け公共賃貸住宅※¹「COCOTTO」が作られました。令和4年度開校予定のとうべつ学園に近接しており、間取りは3LDK（68.21㎡）で、入居は中学生以下の子どもがいる世帯が優先されます。



子育て世帯向け公共賃貸住宅 COCOTTO（下川町）



条例 子育て世帯向け公共賃貸住宅 公共賃貸住宅の設置及び管理に関する条例制定

問 子どもが中学校を卒業した場合、そこに住み続けることはできないのか。次に入居する人がいなければ、住み続けても良いなど、そういう検討はしているか。

答 同居する中学生以下の子どもがいなくなった場合は、他に中学生以下の子がいる入居希望者がいなければ、契約を更新して住み続けることは可能である。

企業誘致と経済活性化

商工労働費 企業立地促進事業の内容 企業立地促進事業 2,080 万円

問 令和3年度の企業立地促進事業について、中身を詳しく教えてほしい。

答 食品製造業者2社に対し、用地取得費と再生可

能エネルギー活用施設設置費用の補助、バイオマス発電事業者1社と、農業資材の製造業者1社に対し、用地取得費の補助、また、飲食店1社に対し、雇用援助として補助を予定しているもの。

商工総務費 補助を受ける企業名は 企業立地促進事業 2,080 万円

問 補助金を支出する5社の企業名は。また、年度途中で申請する企業が増えた場合、補正をしても補助金を出すのか。

答 企業名は、年度が始まり申請されてから確定するものであるため、公表できない。また、年度途中で申請があった場合、補助が該当となれば補正予算を計上していく。

総務費 プレミアム付商品券 プレミアム付商品券事業 8,430 万円

問 大学連携の中で、大学生にも商品券を買ってもらいたい、大学に販売を手伝ってもらおう検討などはしたか。また、6カ月という期限の根拠は。期限は延ばせないのか。

答 商工会の事業として行うものだが、大学連携についても検討するよう協議していく。また、通常の商品券は6カ月の期限が基本であり、今は延ばすことはできない状況。

総務費 ポータルサイトを追加へ ふるさと納税ポータルサイト利用料 2億 1,574 万円

問 これまでの「ふるさとチョイス」、「さとふる」に加え、「楽天」と「ANA」を追加することだが、4社それぞれ手数料はいくらか。また、今後取捨選択はしているのか。

答 「ふるさとチョイス」5%、「さとふる」12%、「楽天」5%、「ANA」8%である。町が事業者を選択するのは難しいが、全体の利用料を何とか低くできないかと考えている。

※1 公共賃貸住宅…住宅に困っている人のために賃貸する公営住宅に対し、定住促進などのために家族世帯向け等に賃貸する住宅。

成年後見支援センター共同設置へ

民生費

成年後見支援センター設置

成年後見支援センター運営業務委託 304 万円

問 センター設置により、今まで社会福祉協議会が行っていた業務と何か差はあるか。また、この約300万円の予算は、新篠津村とどのように関わる数字なのか。

答 相談、申し立て支援、関係機関との連絡調整、制度の普及啓発、市民後見人の育成などの業務に力を入れていく。予算は、新篠津村にも同額を負担してもらい、センターの運営を行っていく。

民生費

成年後見 万全の体制で

成年後見支援センター運営業務委託 304 万円

問 成年後見は話を進めるうちに、認知症が進む対象者の親族との話し合いなど、どんどん複雑になる。その認識の上で覚悟を持って、町は自分ごととして捉えているか。

答 当然、委託をして終わりではなく、町の責任の下で進めていく。成年後見支援センターと密に連携を取りながら、万全の体制で行っていきたい。

町民の福祉・医療のため

町が設置している地域包括支援センター※1は、運営を社会福祉法人に委託しています。令和2年度で3年間の契約期間が満了になりますが、新型コロナウイルスの影響などもあり1年間延長することとなりました。運営や事業評価について質疑がありました。



総合保健福祉センターゆとり

条例

しっかり評価しているか

地域包括支援センター運営協議会条例制定

問 運営について、町外の職員が多く、委託した3年間で何度も人が変わっており、十分に機能しているか疑問を持つ町民もいる。契約更新をするにあたり、しっかり事業評価をしているか。

答 事業評価は、設置者である町の責任。契約更新はコロナの影響もあったが、今後はコロナ禍と向き合った事業展開も必要と考えているので、それも含めて総合的に事業評価を行っていききたい。

条例

条例化でより適正化を

地域包括支援センター運営協議会条例制定 ※2

問 この機会に要綱から条例化するのは、コロナ禍でも町民の期待に応えられる組織にするものと理解して良いか。

答 条例化により、条例の制定や改廃が、議会の審査や、町民の目に触れやすくなり、適正化、公正化が図られる。引き続き、町民の福祉向上に向けて、適正に運営していきたい。



地域包括支援センター窓口 (ゆとり)

条例

基金の取り崩しも想定

当別町国民健康保険税条例の一部改正

問 令和3年度以降に医療給付等が高騰した時や、国保税の引き上げを抑えるために、基金を取り崩していくという理解で良いか。

答 急激に医療費等が高騰した際には、基金の取り崩しについて検討することは、やぶさかではないと考えている。

※1 地域包括支援センター…高齢者の保健や医療の向上、福祉の増進などを包括的に支援するための機関。

※2 要綱…行政機関内部だけで適用することを目的とした規程。

当別町役場 新庁舎構想

土木費

新庁舎 基本構想策定へ

新庁舎基本構想業務委託 300 万円

問

令和2年度と同じく300万円を計上しているが、委託内容の違いは。

答

令和2年度の業務委託では、庁舎の規模の検討など、今後、基本構想を

策定していく上で必要な基礎的な調査を行った。令和3年度は、その結果を基に、新庁舎の基本的なコンセプトを、基本構想としてまとめ、皆様に公表していきたいと考えている。

土木費

新庁舎 新築か当小活用か

新庁舎基本構想業務委託 300 万円

問

新庁舎は新築建て替えか。それとも当別小学校の校舎をリフォームすることも考えられるのか。

答

建て替えを前提に検討している。役場庁舎は約50年が経過しており、

大規模改修をしても、建物の寿命は10～15年しか延ばせないとされている。経済性、効率性、有効性など、費用対効果を考慮した場合、建て替えによる整備が効果的であると考えている。



現在の当別町役場庁舎

給食センター公会計化へ

小学校と中学校の給食費を令和3年度より公会計にすると説明がありました。今までは保護者から集めたお金を食材業者へ直接支払っていましたが、今年度からは町の会計で収入や支出を管理することになります。

教育費

給食センター公会計化

まかない
賄材料費 5,399 万円

問

来年度、一体型義務教育学校ができ、新たに当別町に住もうという人たちも少しずつ増えている。給食の無償化や食育など、今後、公会計にすることによって目指すものは。

答

公会計化により給食への関心が高まるので、当別の給食、食育というものを積極的にアピールしていきたい。透明性も増すことで、今までより給食というものが向上していくと考えている。



給食の調理場（当別町給食センター）

新たな除排雪の仕組みを

土木費

融雪槽、地下水の利用は

除排雪業務委託 3億 8,760 万円

問

除排雪だけではなく、融雪槽や地下水の利用で、雪の問題はかなり軽減されるのではないかと。実際、導入している自治体もあるので、検討してみてもどうか。

答

課題解決に向けて除排雪の新たな方法を検討していく中で、融雪槽の利用などについても、一つの選択肢として考えていきたい。



除雪作業の様子



排雪作業の様子

教育費

学校敷地内で乗り降りを

スクールバス運営費 7,125 万円

問

雪が多いときに、スクールバスが歩道に小一時間横付けされていて危険との声があった。学校敷地内で待機するための除雪費の予算化はできないか。

答

歩道に横付けしているのは承知しているが、停車時間は極力短くするよう事業者の説明している。今後も引き続き、停車時間を短くするよう調整していく。

【その他の主な質問項目】

古文書のデータベース化と閲覧方法（総務委）、移住促進支援事業の内容（総務委）、農業次世代人材投資事業の対象者の要件（産業委）、北海道医療大学連携推進プロジェクト負担金による事業展開（予算特委） など

全会一致で原案どおり可決



令和3年度各会計予算審査特別委員会

委員長 五十嵐 信子 副委員長 西村 良伸
委員 議長を除く 13 名の議員

起草委員会

委員長 古谷 陽一
委員 山田 明 秋場 信一 佐々木 常子
(予算委員会の報告文書を作成する委員会)

令和3年度各会計予算審査特別委員会に付託された各会計予算案や条例案などの22件の議案について、3月12日、15日の質疑に続いて、3月16日に付託された議案全てが原案のとおり可決されました。

次のページは

一般質問 4人の議員が登壇し、町政に対する質問をしました。



一般質問

山田 明 議員

質問の
ねらい

地域住民と情報共有を図るために

新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた取り組みが継続され、町民生活に大きな影響を与えている。町内会活動やイベントの中止、各種会合の自粛等により不安な状況が続いている。また、今年度の大雪で町民

の不安が高まる中、町からの情報が入手しづらくなっている。町民の不安払拭^{ふっしょく}に向け、情報共有の必要性と町内の課題解決に向けた町の今後の取り組み姿勢を町長に伺った。

ここが
聞きたい

ワクチンの接種体制は

問 地域の実情により、さまざまな接種体制の構築が必要である。各自治体で接種開始時期の“バラツキ”が予想される中、町としてどのような接種体制及び接種スケジュールを想定しているのか。

答 町内医療機関や医療大学に協力を依頼し、体制のめどは付いている。ワクチンが最も早く届いた場合の想定は、医療従事者を3月末、高齢者を4月末、一般の方々を6月以降に開始としている。

ここが
聞きたい

人権への配慮は

問 ワクチン接種の実施計画策定にあたって、現時点で課題や問題点はあるか。また、ワクチンを接種しなかった人への誹謗中傷に対する人権への配慮は検討しているか。

答 ワクチンの到着時期が不透明で、接種時期を確定できないことが一番の課題。また、誹謗中傷が起こらないように、町の広報やホームページ、SNSなどで住民への周知、啓発が必要と考える。

ここが
聞きたい

町内経済活性化に向けて

問 商工会より町内経済活性化に向け、令和3年度もプレミアム付商品券の継続の要望書が提出された。販売の方法、場所、開始時期について商工会と連携して進めてほしいが、町長の見解は。

答 商工会と連携を密にして、あらゆる年齢層が購入しやすくなるよう進めたい。各事業者の皆様がいかにお客様を呼べるかなど、アイデアを出し合い、より良い相乗効果を生み出していきたい。

ここが
聞きたい

除排雪体制の見直しを！

問 降雪状況によらず、生活道路の排雪を年末と年明けの2回体制にして、効率良く排雪すべきと考えるが、町長の見解は。また、令和3年度に向けて他の雪堆積場の確保の検討は。

答 2回体制には、除排雪業者の体制強化など課題が多いため、新たな除排雪システムを探求していく。また、新たな雪堆積場が近場では見つからないので、多少遠くても見つけなければならない。

ここが
聞きたい

雪庇対策の検討を！

問 商店街では雪庇が多く見受けられ、道路側にはみ出して非常に危険。基本的には所有者の責任だが、空き店舗も多い。消防署など他機関と連携して、巡回パトロールなどの対応はできないか。

答 消防や警察と連携してパトロールを行っている。危険箇所は、所有者に対応するよう注意している。対応されない場合は、カラーコーンを置いて注意喚起をして、安全確保に努めている。



せり出した雪庇

一般質問

五十嵐 信子 議員



質問の
ねらい

除排雪の体制や対策は最重要課題

人口減少に歯止めをかけ、定住人口を増加させるためには、この町で安心、安全に暮らしていけるかが問われる。雪対策は、災害時と同じく、町の最重要課題である。冬期間に町民が抱える課題を各部署と関係機関

が共有し、万全な体制で乗り越えていかななくてはならない。また、積雪により生じるマンホールの段差が危険であるため、段差を解消できる「断熱マンホール蓋^{ふた}」の設置を計画的に実施すべきと質した。

ここが
聞きたい

町民からの苦情や要望対応

問 今年は何年にもない大雪に見舞われ、予定どおりに除排雪作業も進まず、大変な年となった。町に寄せられた苦情も800件を超えると報告があった。一つ一つどのように対応されてきたのか。

答 職員が電話で対応する場合と、状況により現地に出向いて対応する場合がある。特に置き雪に対する苦情が多く、各家庭で処理していただくように協力をお願いしているところである。

ここが
聞きたい

住宅街での雪捨て場の問題

問 大雪になると苦慮するのが雪捨て場の問題。私有地を雪捨て場として借り上げ、固定資産税の一部免除を実施する自治体もあるが、私有地借り上げにより、除雪の利便性を向上させる考えは。

答 すでに除排雪業者が私有地を借り上げている例がある。その業者から意見を聞き取り、本町の除排雪体制に大きなメリットがあると認められれば、導入を検討していく。



夜間の除雪作業の様子

ここが
聞きたい

冬の道路環境の課題解決を

問 雪対策は災害時の対応と同じく町の最重要課題で、町民と一緒に考え、取り組むことが大切。町と各町内会の協働のあり方や、道路環境の課題について、意見交換できる工夫をしてはどうか。

答 町内会長、除排雪業者、町で設立した除排雪連絡協議会で意見交換を行っている。今までの除排雪システムではなく、斬新なシステムを構築するため、この協議会を含めて議論を進めていく。

ここが
聞きたい

断熱マンホール蓋の設置を

問 マンホール上の積雪は、下水の熱により溶け、その部分と道路に段差ができるため危険。断熱マンホール蓋は段差を解消できるので、特に危険な道路に計画的に設置すべきでは。

答 以前試験的に導入したが、当時の製品では効果がみられず、使用していない。ただ、近年は性能が向上し近隣市町村も採用しているようなので、情報を入手し導入すべきか分析していきたい。



雪で狭くなっている道路

【その他の主な質問項目】

緊急車両を有する機関との除排雪状況の情報共有



一般質問

鈴木 岩夫 議員

質問のねらい 国保税の引き上げを断念せよ

国保税は一昨年、年収 250 万円、固定資産税約 5 万円、介護該当者 2 名、4 人家族というモデル世帯で、これまで 45 万円だったものが約 2 万円の引き上げが行われたばかり。コロナ禍で苦しむ町民に、これ

以上の苦しみを与えるべきではない。今回平均 6,000 円の引き上げは断念すべきと質した。また、ワクチン頼みではなく、医療や介護施設での無症状者発見のための PCR 検査を併せて実施すべきと質した。

ここが聞きたい 検査はいつ頃できるのか

問 ワクチン頼みでなく無症状者の発見、クラスター抑止のために急いで PCR 検査を実施すべき。町にある医療大の検査能力を活用して、社会的検査としての PCR 検査をいつごろ実施できるか。

答 医療大を通じて協議しているソフトバンクの検査センターには、予約が殺到しており、検査のめどが立たない。今後開始するワクチンの接種状況も勘案し、PCR 検査の方向性を見極めていく。

ここが聞きたい 国保税引き上げは断念せよ

問 国保税は一昨年平均的な 4 人家族で、年額 45 万円から約 2 万円引き上げられたばかり。コロナ禍で町民にこれ以上苦しみを与えるべきでない。今回の平均 6 千円の引き上げは断念すべきでは。

答 都道府県単位化がスタートし、全道で保険料率を統一するために、毎年税率改定が必要。今回の改定では、低所得世帯の負担に配慮し、所得などに応じて負担する方法を進めていく。

ここが聞きたい 窓口負担 2 割の撤回を

問 菅政権は、年 200 万円以上収入がある人の後期高齢者保険の窓口負担を 2 割に引き上げる法案を、今国会に提案成立、2022 年実施を目指している。法案撤回を強く国に求めるべきでは。

答 一個人や一町村では解決できるものではないので、すでに何度も国に要望を出している全国の後期高齢者医療広域連合の動きを後押しして、国への要請を強めていきたい。

ここが聞きたい 介護保険料引き上げは断念せよ

問 コロナ禍で撤退する事業者が出ており、保険あって介護なしの実態があつて介護なしの実態が進んでいる。そのような中での引き上げは理解されない。65 歳以上はさらに負担増。今回の引き上げは断念すべきでは。

答 高齢者が増え続ける中、安定した介護保険事業の運営には、保険料引き上げは避けられない。本来は 497 円増額だが、基金を活用して 60 円の増額に抑え、基準月額を 5,660 円とした。

ここが聞きたい 保育士の処遇を改善せよ

問 保育士確保が困難な状況が改善されない。処遇が社会的重要性や職務内容に見合っていないことが原因。給与の大幅引き上げが求められる。他職種との格差をなくすよう国に求めるべきでは。

答 令和 3 年度の保育士については、必要な人数を確保できている状況。北海道町村教育委員会連合会から国に対して、保育士の処遇改善を要望してきているので、今後もそれは続けていきたい。



認定こども園「当別夢の国幼稚園」

一般質問

山崎 公司 議員



次のページは

令和2年度補正予算審査

多岐にわたる質疑がありました。

質問の
ねらい

さらなるコロナ感染対策と支援を

道内で新型コロナウイルスの感染が確認され、1年以上が経過した。町民の暮らしと事業者に大きな影響を与えている。さらなる感染防止対策と、町民・事業者に対する十分な支援を引き続き期待し、さらに感染

症に伴う学校生活のストレス対応、また、新生活様式を定着させる上で行政としての新たな対応について質した。次に、政府が進める行政手続きのはんこ使用廃止を受け、町としてどのように取り組むか質した。

ここが
聞きたい

事業の廃業や倒産件数

問 感染症の影響により、総合相談窓口への個人・事業者の経済活動等に関する新たな相談の動きはあるか。町内の事業規模の縮小、廃業や倒産件数等の状況をどのように精査、検証しているか。

答 昨年9月議会の際に2,300件、12月議会の際に新たに200件と答えしたが、その後新たな相談は来ていない。また、廃業は数件あるが、コロナが主要因ではないと認識している。

ここが
聞きたい

学校生活のストレス対応

問 感染拡大による一斉休校等によるストレスや、起床、就寝時間が不規則になり、児童生徒の体力が前年より下回っているとの報告がある。改善ののためにどのように対応しているか。

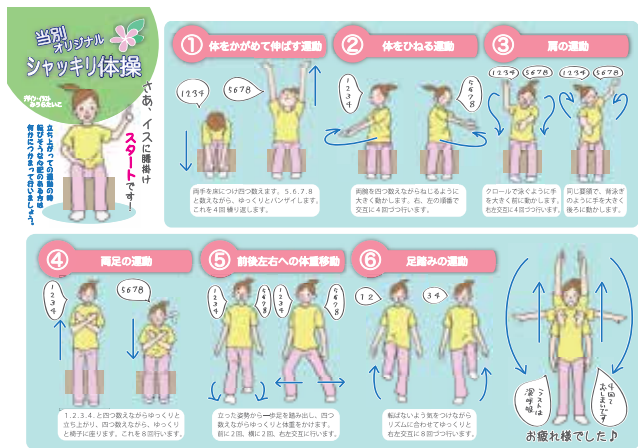
答 児童生徒の体力については、コロナ禍特有というより当別町の継続した課題と捉えている。一校一実践や一貫教育における教科体育など、子どもたちを支援して全国平均以上を目指していく。

ここが
聞きたい

新生活様式の新たな対応

問 コロナ禍において、新生活様式を定着させていく上で、靴下が履けないなど、階段を上ることができなくなるなど、高齢者の体力低下の問題へはどのように対応されるか。

答 コロナ禍での高齢者の体力低下は大変な懸念。自宅で当別シャッキリ体操の実践や、健康に関するパンフレット、医療大生作成のエクササイズのチラシの配布など、意識向上を働きかけていく。



作成者：当別町高齢者クラブ連合会、北海道医療大学リハビリテーション科学部、当別町

当別シャッキリ体操リーフレット

ここが
聞きたい

自治体DX推進計画

問 政府は、2021年度から行政のデジタル化を目指し、自治体システムにおいて強力的にDX※1を推進する。AI、RPA※2の利用促進、テレワークの実施体制づくりはどのように行われているか。

答 役場内にチームを立ち上げ、導入の効果などについて検証するよう指示している。国へデジタル専門人材派遣の申し入れや、即戦力になる人材の採用も決めた。今後も体制強化を図っていく。

ここが
聞きたい

はんこ使用廃止に向けて

問 政府が進める行政手続きのはんこ使用廃止を受け、町として、現時点では具体的にどの部門でどの書類が可能になるか。

答 町が行う住民サービスで、押印を求める様式は約200種類。法令等に基づくものなので、国の動きを注視していく。

【その他の主な質問項目】
町内の児童虐待の状況とその対応、コロナ対策としての町民・事業者に対する具体的な支援策

※1 DX… デジタル技術の活用や浸透により、人々の仕事や生活をあらゆる面でより良いものへと変革すること。
※2 RPA… データの入力等の単純作業をロボットを活用して自動化する技術で、自律的に動くAIに対し、ルールに沿った作業を行う。
とうべつ議会だより No.205 19

総務文教常任委員会(3/3)、産業厚生常任委員会(3/4・5)を開催し、町から令和2年度補正予算や条例制定等の提案説明や報告などがあり、質疑が行われました。

光回線整備へ 駅前広場の地盤対策

総務
文教

光ファイバの供用開始は

問 供用開始が令和4年4月で、中小屋や高岡、東裏の端まであり、基地局も3つある。地元の人から「基地局が違うなら、整備したところから順次使えないか」と聞かれるが、そのあたりの検討は。

答 NTT にはお願いはしているが、工事が完全に終了してから、供用開始にしたいとの回答だった。整備されたところから使えるよう、引き続きお願いしていく。

総務
文教

新駅 駅前広場の地盤対策

問 軟弱地盤対策として、約3億円計上されているが、どのような方法を考えているのか。

答 駅に近接する部分は、線路への影響を考慮し、

EPS 工法という発泡スチロールを地盤に埋め込む軟弱地盤対策を講じる。町道 15 線側については、一般的な**載荷盛土**という土を盛って地盤を落ち着かせる工法で行う。

とうべつ学園 財政負担軽減へ努力

総務
文教

学校建設 財政負担軽減へ

問 国の補正予算を活用して補助率を上げるとのこと、起債^{※1}が9,780万円マイナスとなっており、努力されていることが示されているが、これにより町の負担はどのくらい減るのか。

答 当初事業費に対する補助金がいくらで、一般財源や起債などがいくらかが分かって事業費総額が出るため、町の負担がどのくらい減るかは答えにくいですが、こと細かく事業費を積算し、当てはまる補助金を求めている。

一体型義務教育学校の事業費について

	概算事業費 (令和2年3月時点)	実施事業費 (令和3年3月時点)	増 減
事業費	60億 5,425万円	59億 8,742万円	▲ 6,683万円
国・道補助金	16億 8,273万円	20億 4,911万円	3億 6,638万円
起 債	33億 7,770万円	32億 7,990万円	▲ 9,780万円
その他 [※]	9億 7,730万円	6億 4,154万円	▲ 3億 3,576万円
町単独	1,652万円	1,687万円	35万円

※「その他」は、主にまちづくり基金などの基金を活用するもの。

総務
文教

学校に当別町産木材を

問 とうべつ学園の校舎建設について、町長も当別町の木を使うと述べていたが、具体的に当別町産の何をどれくらい使うのか。

答 校舎の中の壁材やフローリングなどに、当別町産の木材を使う用意をしている。その他、チップボイラにも当別町産の木材を使っていく予定をしている。

総務
文教

西当別小中チップボイラ

問 チップの原材料は、今はどこから仕入れているのか。チップを作る機械を購入している町内業者もいるが、今後、原材料の調達はどのような計画で行うのか。

答 チップの原材料は当別町産を活用。町内にチップを製造できる業者がいるので、そこから購入している。今後も引き続き調達していきたい。

※1 起債… 地方公共団体が財政上必要な資金を国や金融機関などの外部から借り入れるため、債権を発行すること。

新型コロナウイルスワクチン

次のページは

議案の審議結果 定例会では、質疑や討論と採決が行われました。

産業厚生 若い介護員の接種順位

問 接種対象者の順位として、高齢者である65歳以上の介護員であれば、先に打てると思うが、若い介護員の接種順位について、当別町ではどのような考えでいるのか。

答 コロナ感染症にひんぱん頻繁に接する機会のある方は、高齢者の次の高齢者施設の従事者などと同等の扱いで、各自治体で判断するという国の流れ。現在、施設等に照会をかけた人数の集約をしている。

産業厚生 接種はかかりつけ医からも

問 町民には、あいの里の北海道医療大学病院にかかっている人が多いので、そこのかかりつけ医に接種をしてもらえれば安心感があるが、そういう検討はしているか。

答 基本的には住民票を置く自治体での接種となるが、他の自治体で入院や入所、また基礎疾患を持っていて他の自治体に主治医がいる場合などは、他の自治体でも可能。

新たな除排雪体制を

令和2年度の除排雪状況について説明があり、除排雪業務委託費を大幅に増額する補正予算案を提出する予定であることも伝えられました。

産業厚生 除排雪 大幅に増額

問 大雪により800件も苦情が来ており、町民が生活する上で本当に困っている。補正予算で何とか克服していくという努力を示していただきたい。

答 住民の皆様には不便な生活を強いている。かつてない規模で補正予算を提出する予定。除雪体制は考えなければならない時期に来ている。次の除雪シーズンに向け、体制もしっかり考えていく。

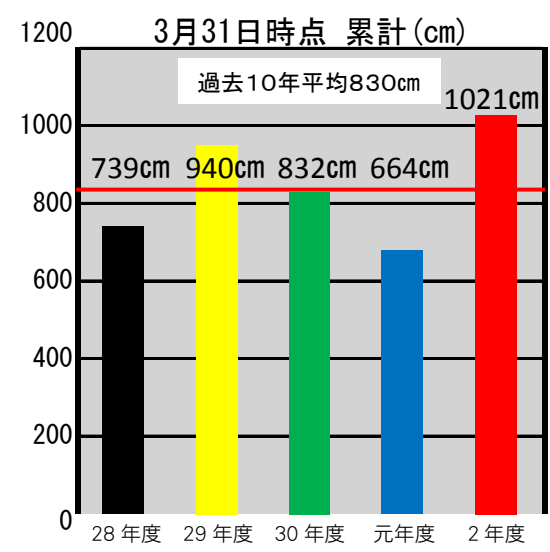
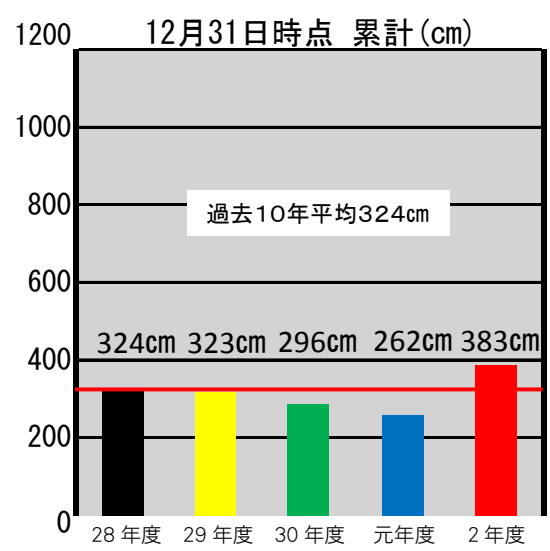
産業厚生 生活道路の除雪パトロール

問 太美では2月に積雪がものすごく増えたが、パトロールで生活道路の現状は見ていたのか。苦情も多かったが、その苦情に対してどのような対応をしてきたのか。

答 特に太美は、生活道路を中心に回り、状況を確認。時間関係なくパトロールしている。また、苦情には電話対応や、必要に応じて職員が現地に行き対応している。

【その他の主な質問項目】
JR新駅の歩道整備（総務委）、ゆとりっち稲穂の土地売払収入と平米単価（総務委）、特別定額給付金の辞退者数（産業委）、インフルエンザ予防接種と発症者の実態（産業委）、妊婦健診費用の減額理由（産業委）など

各年度 12月末時点と3月末時点の降雪量（当別地区）



令和3年第1回定例会

日程：3月2日～3月16日

◎：全員賛成 ○：賛成多数 ×：反対多数

結果

掲載ページ

傍聴人数 14人 議会中継視聴回数 522回 (4/21現在)

【専決処分】

和解及び損害賠償額の決定について 町道での人身事故について、損害賠償額を定め和解した専決処分の承認を求めるもの	◎	-
令和2年度一般会計補正予算(第8号) 新型コロナウイルスワクチン接種体制確保等に係る費用を増額補正し専決処分したので、報告し承認を求めるもの	◎	p.17

【補正予算】

令和2年度一般会計補正予算(第9号) 20億8,811万円を増額し、総額を184億8,608万円とするもの	◎	p.16 ~ p.17
令和2年度国民健康保険特別会計補正予算(第4号) 1億9,290万円を減額し、総額を20億2,355万円とするもの	◎	-
令和2年度介護保険特別会計補正予算(第3号) 2,291万円を増額し、総額を16億4,325万円とするもの	◎	-
令和2年度下水道事業特別会計補正予算(第2号) 1,301万円を減額し、総額を8億7,727万円とするもの	◎	-
令和2年度下水道事業会計補正予算(第2号) 収益的支出の資産消費費を189万円減額等するもの	◎	-
令和2年度一般会計補正予算(第10号) 3億951万円を増額し、総額を187億9,559万円とするもの	◎	p.17 p.21

【契約】

北海道公設光ファイバ整備推進協議会高度無線環境整備工事請負契約について 議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例の規定により、議会の議決を得ようとするもの	◎	p.16
---	---	------

【条例】

当別町国民健康保険条例の一部改正 新型インフルエンザ等対策特別措置法等の一部改正に伴う条例の一部改正	◎	-
当別町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員等の基準及び介護予防のための支援の基準に関する条例の一部改正 指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等の見直しに伴う条例の一部改正	◎	-
当別町指定地域密着型サービスの人員等の基準に関する条例の一部改正 指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等の見直しに伴う条例の一部改正	◎	-
当別町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営等の基準等に関する条例の一部改正 指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等の見直しに伴う条例の一部改正	◎	-
当別町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営等の基準等に関する条例の一部改正 指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等の見直しに伴う条例の一部改正	◎	-

【請願・陳情】

《令和2年第4回定例会(12月)総務文教常任委員会へ付託》 核兵器禁止条約の批准を求める意見書の採択を求める請願書 [提出者]新日本婦人の会当別支部 支部長 佐藤 美智子 他4団体 [紹介者]当別町議会 議員 澁谷 俊和、議員 鈴木 岩夫	不採択	p.18 討論①
《令和2年第4回定例会(12月)産業厚生常任委員会へ付託》 米の需給や価格の安定に政府が責任を持ち戸別所得補償の復活をはじめ、農産物の生産費に見合った価格保障を実現することの意見書の採択を求める請願書 [提出者]当別町農民同盟 委員長 堀 梅治 他4団体 [紹介者]当別町議会 議員 鈴木 岩夫	不採択	p.19 討論②

【討論】①

核兵器禁止条約の批准を求める意見書の採択を求める請願書

採択すべき 鈴木議員



核抑止から抜ける必要がある

核兵器の非人道性を批判するならば、日本は核抑止力論から抜け出す必要がある。

不採択すべき 山田議員



アメリカに頼るほかない

国民の生命と財産を守るには、日米同盟の下、アメリカの核抑止力に頼るほかないのが現実。

採択すべき 澁谷議員



きっぱりと禁止の立場を

日本はきっぱりと核兵器禁止の立場を取るべき。核の傘でいつまでも逃げることはできない。

不採択すべき 高谷議員



安易には批准できない

ミサイルを飛ばす国が近くにあることを考えると、安易にこの条約には批准できない。

採択すべき 島田議員



核兵器廃絶へ積極的な行動を

核保有国に対して、非保有国の立場から核兵器廃絶に向けて積極的に行動を起こすべき。

不採択すべき 岡野副議長



核の抑止力に頼らざるを得ない

非核三原則に異論を唱えるものではないが、国情を考えると核の抑止力に頼らざるを得ない。

【賛否が分かれた採決の公表】

櫻井	佐々木	西村	五十嵐	鈴木	山崎	秋場	澁谷	山田	古谷	稲村	高谷	島田	岡野
欠	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	×	○

※議長は議事進行を行うため賛否表明はしません。
※「欠」は欠席。

討論 ②

米の需給や価格の安定に政府が責任を持ち戸別所得補償の復活をはじめ、農産物の生産費に見合った価格保障を実現することの意見書の採択を求める請願書



採択すべき 鈴木議員



政府が責任を持って調整を

コロナによる需要減少で生じた過剰在庫は、政府が買って需給を調整、価格下落を防ぐべき。

不採択すべき 稲村議員



根本的な解決にはならない

政府が買い上げることは根本的な解決にならない。需給均衡水準の維持が必要不可欠。

【賛否が分かれた採決の公表】

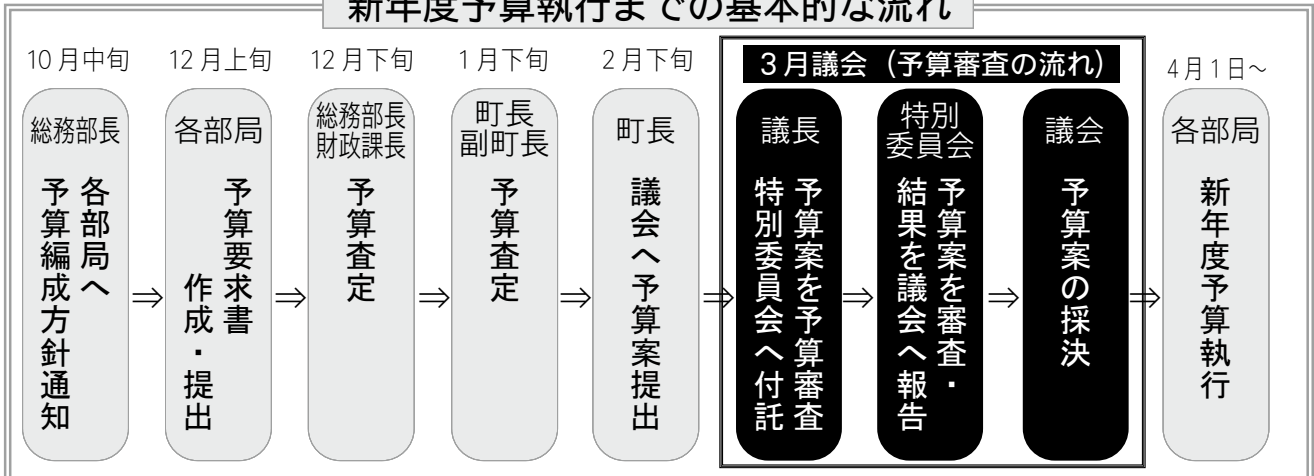
櫻井	佐々木	西村	五十嵐	鈴木	山崎	秋場	澁谷	山田	古谷	稲村	高谷	島田	岡野
欠	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※議長は議事進行を行うため賛否表明はしません。
※「欠」は欠席。

【令和3年度当初予算関係】		
※下記の22議案は令和3年度各会計予算審査特別委員会へ付託		
令和3年度一般会計予算 総額を150億7,009万円とするもの		p.7 ~ p.11
当別町情報公開条例及び当別町個人情報保護条例の一部改正 情報公開及び個人情報保護制度に関する運用の見直しを図るための条例の一部改正		-
当別町職員の給与に関する条例の一部改正 寒冷地手当の支給方法等を改めるための条例の一部改正		-
当別町一般職の任期付職員の採用等に関する条例制定 地方公共団体の一般職の任期付職員の採用に関する法律の規定に基づく条例制定		p.7
当別町議会議員及び当別町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例制定 公職選挙法の一部改正に伴う条例制定		-
当別町公共賃貸住宅の設置及び管理に関する条例制定 当別町公共賃貸住宅を設置するための条例制定		p.8
当別町総合保健福祉センター条例の一部改正 当別町成年後見支援センターを設置するための条例の一部改正		p.9
当別町地域密着型サービス等運営委員会条例制定 当別町地域密着型サービス等運営委員会を設置するための条例制定		-
当別町地域包括支援センター運営協議会条例制定 当別町地域包括支援センター運営協議会を設置するための条例制定		p.9
当別町福祉有償運送運営協議会条例制定 当別町福祉有償運送運営協議会を設置するための条例制定		-
当別町老人ホーム入所判定委員会条例制定 当別町老人ホーム入所判定委員会を設置するための条例制定		-
当別町学校給食センター条例の一部改正 学校給食センターの運営に関する見直しを図るための条例の一部改正		p.10
令和3年度国民健康保険特別会計予算 総額を21億7,094万円とするもの		-
当別町国民健康保険条例の一部改正 保険税率の改定等に伴う条例の一部改正		p.9
令和3年度後期高齢者医療特別会計予算 総額を2億7,212万円とするもの		-
令和3年度介護保険特別会計予算 総額を16億4,815万円とするもの		-
当別町介護保険条例の一部改正 令和3~5年度までの介護保険料の改定等を行うための条例の一部改正		-
令和3年度介護サービス事業特別会計予算 総額を6,430万円とするもの		-
令和3年度下水道事業特別会計予算 総額を9億3,114万円とするもの		-
令和3年度水道事業会計予算 収益的収入総額を6億5,460万円等とするもの		-
令和3年度一般会計補正予算(第1号) 1億782万円を増額し、総額を151億7,791万円とするもの		p.21
令和3年度水道事業会計補正予算(第1号) 収益的収入の営業収益を2,303万円減額等するもの		p.21
令和3年度各会計予算審査特別委員会報告 付託された全ての案件を「原案のとおり可決すべきものと決定した。」と報告		◎ p.11

※各会計予算審査特別委員会で審査し、委員会から本会議に報告

新年度予算執行までの基本的な流れ



トピックス

《本会議での質疑①》

【関連議案】

・令和2年度一般会計補正予算（第10号）

新型コロナウイルスコールセンター業務委託



Q 新型コロナウイルスワクチン接種事業について、医師報酬を約800万円増額しているが、その理由は何か。医師の数が増えたのか、それとも接種期間が延びたのか。また、接種予約コールセンター業務委託を約700万円増額しているが、2人体制とのことで、1人350万円増額は相当な金額である。このコールセンターの業務内容はどのようなものなのか。

A まず医師報酬については、北海道医療大学から、医師や看護師の派遣を新たに応援してもらうため増額とした。また、接種期間についても、当初より長い令和4年3月までを見込み増額としたところ。次にコールセンターについては、当初は2人体制で予算計上していたが、2人を増やして4人体制とするため、増額とした。業務内容としては、ワクチン接種の電話予約受け付けや、接種についての問い合わせ対応などの業務を予定している。

Q コールセンター業務委託は、今回の補正分をあわせて約1,500万円となるが、こういうところに委託するのか。国費であるからと言ってルーズな使い方にならないようにしてほしい。例えば、町内業者に委託するなどもある必要がある。今予算は出てきているが、そういう思いが伝わってこない。1人に350万円の経費は、町の会計年度任用職員から見るとはるかに高額。割高な委託になっていないかも含めて、今後の運用に気を付けていただきたい。

A 現在、数社に対して、業務の受託が可能かどうか確認を取っている段階で、まだ具体的には決まっていない。

トピックス

《本会議での質疑②》

【関連議案】

・令和2年度一般会計補正予算（第10号）

来年度に向けて新しい除排雪体制を



Q 今年の除排雪の問題について、繰り返される原因が何であるのかしっかり究明して、改善策を打ち出していかなければ、住み続けられる町をつくることは難しい。今回の除排雪の問題を受けて、来年度に向けての決意は。

A 今年は何度もふぶき、例年と比べられないほど雪が重く、除雪作業に倍以上の時間がかかった。その犠牲が特に生活道路へ行くなど、本当に厳しいもので災害だと捉えている。また、今の地球温暖化を考えると、今回のような大雪は毎年来るかもしれない。今後は、我々だけでなく町民の参画も得て、新しい除排雪体制を作り上げなくてはならないと考えている。

議員表彰 後藤議長 議員在職27年表彰

3/2 伝達式(議場)

後藤議長は、長きにわたる地方自治の発展に寄与された功績が認められ、全国町村議会議長会より表彰されました。



岡野副議長(右)から伝達を受ける後藤議長(左)

トピックス

《本会議での質疑③》

【関連議案】

- ・令和2年度一般会計補正予算（第10号）

豪雪でも災害対策本部を設置すべき

Q 今回の豪雪に対して、町は対策本部を立ち上げて対応するべきだったと思うが、町の対応は適切だったと考えているか。また、生活道路の排雪が一向に進んでおらず、これから雪が解ける時期であるため早急に行わないと、洪水などのいろいろな問題が出てくる。今回の補正予算は、生活道路の排雪について全てやる内容となっているのか。

A 今回、災害対策本部と銘打って立ててはいないが、担当部局が業者との打ち合わせやパトロールを行うなど、災害対策本部と同じような対応をしていた。ただ、雪の降り方が今までと違い、予定がどんどん狂い排雪ができなくなってしまったことは事実であり、町民の皆様にご迷惑をおかけしてしまい、心苦しく思っている。また、今回の補正予算による除排雪業務委託の設計変更については、この季節の中で全てやり切るという内容である。特に排雪は、気温が上がって一気に水が出てくることも考えられるので、速やかに実施するよう取り組んでいる。

トピックス

【関連議案】

- ・令和2年度一般会計補正予算（第10号）
- ・令和3年度一般会計補正予算（第1号）
- ・令和3年度水道事業会計補正予算（第1号）

提出した予算案をさらに補正



3月定例会では「令和2年度補正予算」や「令和3年度当初予算」などの議案が提出されましたが、追加議案として、さらなる「令和2年度補正予算」と「令和3年度補正予算」の議案も提出されました。追加された内容は、令和2年度分として、新型コロナウイルスワクチン接種対策費や除排雪業務委託費の増額、令和3年度分として、プレミアム付商品券発行支援事業や水道料金減免事業（事業者支援）のための増額となっています。

産業厚生
常任委員会

除排雪状況とCOCOTTOを視察

2/8 町内所管事務調査

町内の除排雪状況や子育て世帯向け公共賃貸住宅COCOTTO(下川町)について説明を受け、雪堆積場やCOCOTTOの視察を行いました。



COCOTTOのリビング



COCOTTOの育てる3帖間

議会のうごき（令和3年2月～4月）

2月 8日	産業厚生常任委員会町内所管事務調査	10日	第4回定例会
16日	会派代表者会議	12日	予算審査特別委員会
22日	議会運営委員会 石狩町村議会議長会議員研修会	15日	予算審査特別委員会
3月 2日	議会運営委員会 議員協議会 第1回定例会	16日	議会運営委員会 議員協議会 予算審査特別委員会 第1回定例会 議員協議会 議会広報特別委員会
3日	総務文教常任委員会	4月 2日	議会広報特別委員会
4日	産業厚生常任委員会	9日	議会広報特別委員会
5日	第1回定例会 産業厚生常任委員会	14日	議会広報特別委員会
8日	総務文教常任委員会		
9日	産業厚生常任委員会		

令和3年6月定例会のご案内

予定 6月11日(金)～6月18日(金)

内容 補正予算審査、一般質問など

傍聴 本会議や委員会も傍聴できます。

議会インターネット中継

本会議と常任委員会のライブ中継や録画配信をインターネットにより配信しています。詳しくは、ホームページをご覧ください。



※日程が決まり次第ホームページへ掲載します。

議場での傍聴について

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、議場の傍聴を制限しています。ご協力をお願いします。また、インターネット中継も行っているため、インターネット環境のある方は、可能な限りそちらをご利用ください。



傍聴席を10席に制限

編集後記

3月議会は、はじめに町長・教育長の執行方針表明があり、それに対する代表質問が行われ、続いて令和2年度補正予算、令和3年度予算等に対し一般質問も行われました。また、新年度予算案審議のため、予算審査特別委員会も開催し質疑を行いました。特に令和2年度予算が約188億円、令和3年度予算が約150億円（他に繰越事業約30億円）と過去最大になったこと、除雪やワクチン接種経費の補正、ふるさと納税22億円、学校建設費約42億円（繰越含む）等の重要な案件をお知らせするため、事務局共々紙面調整が大変でした。

議会広報特別委員会 委員 西村 良伸

ご意見ご感想をお寄せください

議会だよりの編集について、ご意見・ご感想がありましたら、下記連絡先へご連絡ください。今後の参考とさせていただきます。

議会事務局

〒061-0292 石狩郡当別町白樺町58番地9
TEL 0133-23-3247 FAX 0133-23-4474
E-mail gikai@town.tobetsu.hokkaido.jp

議会広報特別委員会

委員長 秋 場 信 一
副委員長 鈴木 岩 夫
委員 西村 良 伸
委員 佐々木 常 子
委員 櫻 井 紀 栄